

た。容体は安定しているという。

八木孝仁・肝胆すい臓外科教授が執刀。午前10時46分に始まり、約11時間後の午後9時36分に終わった。男性は重い肝不全で移植でしか救命できない状態となり、2011年7月に日本臓器移植ネットワークに登録していた。

ネットワークによると、ドナー（臓器提供者）は北海道の中村記念病院に脳出血で入院していた50代の男性。

岡山大病院の脳死肝移植手術は25例目、生体と合わせて366例目。

（伊丹友香）

岡山大病院の 脳死肝移植終了

60代男性容体安定

岡山大病院（岡山市北区鹿田町）で29日、非代償性肝硬変を患う60代男性＝島根県在住＝への脳死肝移植手術が行われ、無事終了し